

内野・五十嵐まち協だより

第30号

発行 内野・五十嵐まちづくり協議会 発行日 令和7年12月

今年も「うちのDE月見酒 2025」を開催しました!



10月4日(土)16時30分より、内野まちづくりセンター3階ホールにて西区の銘酒(塩川酒造・樋木酒造・高野酒造)を1000円(オリジナル枡購入)で飲み比べできる「うちのDE月見酒 2025」を開催しました。(主催:西新潟商工会青年部・まち協共催)

酒蔵様が1社増え、またヤマキ食品様より漬物、瀧ずし様からおつまみを販売していただき、昨年よりも内容の濃いイベントとなりました。今年は昨年の倍ほどの約200名からご参加いただき、大変賑わいのあるイベントとなりました。(西新潟商工会)



祝! スポGOMIのワールドカップで「スマイルストーリー」優勝!



10月29日に東京で開催された「スポGOMI」のワールドカップに日本代表として出場した高橋智恵さん、網本麻利子さん、家後寛之さんのチーム「スマイルストーリー」が世界一位の座に輝きました。「スポGOMI」ワールドカップは、世界33か国の代表が出場し、集めたごみの種類や量などを競う大会です。前回大会では準優勝でした。「スマイルストーリー」は、内野町を拠点に、毎月の海岸清掃や地域食堂

を内野まちづくりセンター等で行っている地域貢献活動に尽力されている団体です。





内野まつり

今年の内野まつりは、9/12(金)内野小学校4年生による「こども広場」で、まつりの始まりを大いに盛り上げていただきました。夜には恒例の「大民謡流し」で露店と共に沢山の人で賑わいました。

9/13(土)は「バンドフェスティバル」や「みこし渡御」、「町内山車引廻し」が盛況に取り行われ、9/14(日)最終日も好天に恵まれ、「マーチングパレード」「キッチンカー出店」や「カラオケ大会」「町内山車引廻し」が行われました。「カラオケ大会」では、出場者の熱演とゲストの歌手河嶋けんじさんによる熱唱で、3日間のまつりを無事に終えることができました。

(西新漏商工会)



「もったいない」から「ありがとう」へ 食品寄付等のお願い

まちづくりセンター正面玄関付近に、のぼりと寄付食品を入れるボックスがあります。これは、今年6月に設立された、「フードバンクにし」が食品の寄付を募っているもの

です。詳しくは、ボックスの脇に、チラシが置いてあります。「食品の提供」「運営への協力」「ボランティア募集」などについて記載されています。食品の提供にご協力いただける方は、「賞味期限がある程度あるもの」「未開封のもの」をお持ち下さい。よろしくお願いいたします。



かけがえのない郷土の宝 内野の今昔

まちづくりセンター正面入口入ってすぐ右の机に、「内野の今昔」冊子全23巻を展示しています。この冊子は、「内野の今昔を語る会」(現会長：笠巻謹太郎様)が昭和58年の7月に創刊号を発行して以来、平成20年の第23号まで内野地区の郷土理解を深めるために発刊されたものです。

長らく全巻が揃わずにいました

が、ご寄付を受け、23巻全巻を展示できるようになりました。今年の6月に展示してから、冊子を手にとられる方、コピーをお願いされる方、借りて家で読みたいと要望される方など、様々な反応があり事務局としましても嬉しい限りです。

今後、この貴重な冊子をどう活用していくか、また再編集すべきかなども含めて、地域の方々のご意見を頂戴しようと考えているところです。会員の方々、そして郷土の歴史や地域のことに興味をお持ちの方のご協力をいただき、「内野の今昔」をたくさんの方に知っていただきたいと思えます。



楨尾自治会 まち協加入について

楨尾自治会 会長 大竹 潤一郎
当自治会はこれまで、コミュニティ中野小屋(コミ中野小屋)に属していました。しかし、長年に渡り距離的問題及び地域環境の変化により、児童は内野小学校に通学していました。(学校区は笠木小学校)そのため、かねてからの生活・経済圏であ

る内野・五十嵐まちづくり協議会(まち協)への加入と学校区の変更を求める地域民の声が多くありました。

これについて、昨年9月に住民アンケートを実施し、本年1月の自治会総会において、「まち協」への加入と小学校区の変更が承認されました。その後、市教育委員会の指導をはじ

め、「コミ中野小屋」「まち協」及び隣接自治会など関係者の皆様のご協力のもと諸手続きを進め、本年4月から「まち協」に加入いたしました。

この二つの課題が解消されたことは、会長として感慨深いものがあり、この加入を機会に自治会活動が一層活性化することを願っています。

演奏で伝える・思いを受け取る 新川音楽祭



11月8日(土)に、新川音楽祭が行われました。今回から地域交流部主催の事業として、リニューアルされました。演者・聴衆合わせて250名ほどの参加となり、深秋のひとときを素敵な音楽で楽しみました。出演団体は7団体となり、終演までは3時間のコンパクトなプログラムでしたが、出演者も聴衆もともに楽しめる音楽会となりました。出演・鑑賞された地域民のみなさん、ありがとうございました。来年も継続して実施していく予定です。まだ新川音楽祭を鑑賞されていない方も、ご来場をお待ちしています。

新潟市補助事業：地域交流部主催

※この広報誌「内野・五十嵐まち協だより」は「新潟市補助事業」を利用して発行しています。